資料３

令和５年度　湧別町地域包括支援センター事業報告

１．一般介護予防事業

目　　的：介護保険被保険者の要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援に資することを目的としています。

（湧別町介護予防・日常生活支援総合事業要綱より）

事業内容：６５歳以上の方を対象に、湧別地区においては文化センターさざ波、上湧別地区においては文化センターTOM にて、月２回「大筋クラブ」として、運動教室や健康作り・口腔ケア・認知症予防等についての講話などの取組みを実施しています。また、地域リハビリテーション事業として自宅を訪問し、身体機能や生活機能、環境を評価し、適切な運動や介助方法、福祉用具の選定や手すりの設置場所形状などの相談を行います。

実施場所	湧別地区　さざ波	上湧別地区　社会福祉会館
登録者数	44 名（R4・43 名、R3・47 名、R2・52 名）	33 名（R4・26 名、R3・30 名、R2・45 名）
実施期間	令和５年４月～令和６年３月　（予定含む）	

【各月の参加数】

大筋クラブ（さざ波）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	計
58	47	41	46	36	48	52	41	42	36	45	492

前年度実績　561 名　（前年２月まで）
前々年度実績　501 名　（前々年２月まで）

大筋クラブ（ＴＯＭ）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	計
53	48	45	26	23	41	32	29	35	33	30	395

前年度実績　317 名　（前年２月まで）　　福祉会館
前々年度実績　298 名　（前々年２月まで）

○湧別会場　３Ｂ

○上湧別会場　３Ｂ

○湧別会場　運動指導士

○上湧別会場　運動指導士

○ヘルスアップヨガ

【各月の大筋クラブの内容】

4/13	初回受付、新規参加者聞き取り確認、顔写真撮影、血圧測定・体調確認　スポーツ保険手続き、リモート体操（ストレッチ、有酸素運動、筋トレ、深呼吸）
4/27	運動指導士　講話：これからも元気に過ごすために人とのつながりが大切です！」 運動：ストレッチ・脳トレ・有酸素運動・筋トレ・椅子ヨガ
5/18	３Ｂ体操：ウォームアップ・音楽に合わせた体操・ベルターを使った体操・脳トレ・ベルを使った体操・クールダウン
5/31	チャレンジデー 運動指導士　講話:「フレイル予防には歩く簡単予防法１日５，０００歩！」 運動：ストレッチ・脳トレ・有酸素運動・筋トレ・クールダウン
6/12	ヘルスアップヨガ：脳活・顔ヨガ・椅子ヨガ
6/29	３Ｂ体操：ウォームアップ・音楽に合わせた体操・ベルターを使った体操・脳トレ・ベルを使った体操・クールダウン
7/13	３Ｂ体操：ウォームアップ・音楽に合わせた体操・ベルターを使った体操・脳トレ・ベルを使った体操・クールダウン
7/27	運動指導士　講話：「ヒアリングフレイル」 運動：ストレッチ・脳トレ・有酸素運動・筋トレ・椅子ヨガ・呼吸法
8/10	運動指導士　講話：「効率よく身体の水分を入れ替えよう！」 運動：ストレッチ・脳トレ・ボールを使った体操・有酸素運動・筋トレ
8/24	３Ｂ体操：ウォームアップ・音楽に合わせた体操・ベルターを使った体操・脳トレ・ベルを使った体操・クールダウン
9/8	運動指導士　講話：「よく噛んでおいしく食べて健康に！」 運動：ストレッチ・脳トレ・ボールを使った体操・有酸素運動・筋トレ
9/21	運動指導士　講話：「てんとう虫テストについて」 ウォームアップ・てんとう虫テスト・有酸素運動・筋トレ
10/5	運動指導士　講話：「体力測定の結果説明」 運動：ストレッチ・脳トレ・ボールを使った体操・有酸素運動・筋トレ
10/19	運動指導士　講話：「これまでの暮らしを続けていくために」 運動：ストレッチ・脳トレ・ボールを使った体操・有酸素運動・筋トレ
11/6	ヘルスアップヨガ：脳活・顔ヨガ・椅子ヨガ
11/21	運動指導士　リモート体操 運動：ストレッチ・ボールを使った体操・脳トレ・筋トレ・音楽に合わせた体操
12/7	３Ｂ体操：ウォームアップ・音楽に合わせた体操・ベルターを使った体操・脳トレ・ベルを使った体操・クールダウン
12/22	運動指導士　講話：「腰痛予防改善のための運動」 運動：ストレッチ・脳トレ・ボールを使った体操・有酸素運動・筋トレ

1/11	３B体操：ウォームアップ・音楽に合わせた体操・ベルターを使った体操・脳トレ・ベルを使った体操・クールダウン
1/29	運動指導士　講話：「血管を強くする・血流をよくする食習慣」 運動：ストレッチ・脳トレ・ボールを使った体操・有酸素運動・筋トレ
2/8	３B体操：ウォームアップ・音楽に合わせた体操・ベルターを使った体操・脳トレ・ベルを使った体操・クールダウン
2/22	運動指導士　講話：「冷え性の改善」 運動：ストレッチ・脳トレ・ボールを使った体操・有酸素運動・筋トレ
3/7	３B体操 予定
3/21	保健師、健康運動指導士（リモート運動指導）予定

【地域リハビリテーション事業】

件　数	４件
内　容	・身体機能や生活機能、環境を評価し、適切な運動や介助方法、福祉用具の選定や手すり設置場所や形状などの相談を実施。

２．生きがい対応型デイサービス事業（緩和）

○町単独事業として実施していた「生きがいデイサービス事業」の一部を介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービス事業に移行し実施しました。

対象者：①事業対象者で入浴介助を必要としない者
②９０歳以上の「生きがいデイサービス」利用者のうち、基本チェックリストで事業対象と認定となった者

各月の参加延べ人数（令和５年４月～令和６年１月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
湧別	13	17	18	19	11	9	16	14	8	7	132 (前年1月 207) (前々年1月 190) (前年度実績 238) (前々年度実績 215)
上湧別	16	16	17	15	15	14	14	15	13	15	150 (前年1月 200) (前々年1月 330) (前年度実績 238) (前々年度実績 386)
計	29	33	35	34	26	23	30	29	21	22	282 (前年1月　407) (前々年1月　520) (前年度実績　476) (前々年度実績　601)

３．介護予防ケアマネジメント事業

○要介護認定で要支援と判定された方及び介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者と判定された方に、介護予防サービス計画を作成し、サービス提供事業者などとの連絡・調整を行い、介護予防サービス利用につなげました。

【予防給付及び原則的な介護予防ケアマネジメント】

	令和６年１月末	前年実績	前々年実績
登 録 実 人 数	１１４名	１２１名	１１９名
対応延べ件数	９５７件	１，１４９件	１，１００件

【簡略化した介護予防ケアマネジメント】

	令和６年１月末	前年実績	前々年実績
登 録 実 人 数	７名	１４名	１９名
対応延べ件数	８４件	１４２件	１７２件

４．認知症総合支援事業

○認知症の人と家族の交流、専門職へ相談する場、地域住民が認知症に関して理解する場として認知症カフェを実施しました。

	内　　容
①	認知症講演会（講師：遠軽厚生病院認知症専門看護師　山口麻琴氏）
②	認知症に関する相談会
③	認知症に関する相談会
④	映画上映会（予定）

５．総合相談支援事業

○高齢者や地域に暮らす方の介護に関する悩みや相談を受け、地域包括支援センターの三職種が協同し、必要な介護保険サービスや福祉サービスに関する情報提供をおこない、必要な利用等につなげました。

相談件数（令和５年４月～令和５年１月）　　　　　※重複あり

		Ｒ６年１月末	前年度実績	前々年度実績
主な相談内容	介護保険サービス説明	３７件	８２件	９６件
	要介護認定申請手続き	４１件	４６件	５４件
	要介護認定調査	２３７件	３８４件	４０１件
	介護相談	１９件	２５件	６８件
	健康・医療相談	１０件	１件	２４件
	施設入所	１０件	６件	４件
	その他	４８件	２１２件	１６２件
合　　計		４０２件	７５６件	８０９件

6．権利擁護事業

○「高齢者虐待防止法」にもとづき高齢者虐待の早期発見や防止に努め、相談対応をしています。（令和５年４月～令和６年１月）

	内　容	結　果
相　談	無し	

7．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○介護支援専門員や介護保険サービス事業所と連携を図り、地域の高齢者が住み慣れた地域で長く暮すことができるよう支援しました。

○地域包括ケア会議（介護サービス連絡部会）を月１回開催し、湧別町を営業区域とする介護保険サービス事業所や老人施設等と情報を共有し、サービス向上に努めました。

○地域密着型施設運営会議に出席し､行事報告や実践されている介護方法､事故報告、職員状況等の報告を受け、介護方法や運営が向上するよう協議しました。

・地域包括ケア会議　１１回
・認知症対応型グループホーム「上湧別舘」　１回
・地域密着型特別養護老人ホーム湧愛園「チューリップの里」　５回
・地域密着型特別養護老人ホーム湧別オホーツク園　「リラの杜」　６回
・地域密着型介護老人福祉施設・小規模多機能ホーム「湖水の杜」　５回
・地域密着型通所介護上湧別福祉会老人デイサービスセンター　１回
・地域密着型通所介護湧別町高齢者福祉センター　２回
・地域密着型通所介護デイサービスらん　０回
・地域密着型通所介護デイサービス絆　０回
・地域密着型通所介護デイサービスつなぐ　２回

※令和６年２月末まで　※書面会議含む

8．その他厚生労働省令で定める事業及び地域住民の福祉の増進のために必要な事業

①介護予防に関する普及啓発をおこなう事業

湧別地区・上湧別地区２１か所の老人クラブを年３回、及び湧別地区３か所・上湧別地区１か所のサロンを訪問し健康相談等を実施しました。必要に応じ介護予防教室参加を促し、要介護状態に陥らないよう、日頃から介護予防を意識できるよう啓発しました。また、認知症を正しく理解するため、認知症サポーター養成講座を開催しています。

令和５年１１月１２日（日）場所：計呂地地区活性化センター
時間：１３時００分～１５時００分
※支えあいサポーター養成講座：生活支援体制整備事業の中で実施

１１月１７日（金）場所：福祉会館

時間：１８時３０分～２０時３０分
※支えあいサポーター養成講座：生活支援体制整備事業の中で実施

１１月２２日（水）：文化センターさざ波
時間：１３時３０分～１５時３０分
※支えあいサポーター養成講座：生活支援体制整備事業の中で実施

② 任意事業

・寝たきり老人等介護手当助成事業

対象者：日常介護を受けている寝たきり老人、認知症老人又は寝たきり重度心身障害者と同居し、被介護者を無報酬で介護する方。
被介護者は要介護４以上に該当する方。

支給額：月額２万円。

・寝たきり老人等紙おむつ購入助成事業

対象者：本町に住所を有する在宅で 65 歳以上の高齢者(40 歳以上 65 歳未満の要介護状態で介護保険該当者を含む)のうち､今後１カ月以上常時おむつを必要とし以下に該当する方。

（1）要介護認定を受け、要介護度２以上
（2）要介護認定を受けないもので、要介護度２相当以上

助成額：購入額の２分の１、月の上限は５千円。町内で購入した紙おむつに限ります。

・高齢者用歩行車購入助成事業

対象者：在宅で高齢等の理由により歩行が困難か、又は相当時間のかかる方。

助成金：購入額の２分の１、上限１万５千円。
但し、助成後３年間は助成を受けることができません。

【任意事業の対象者数】

事　業　名	Ｒ６年１月末	前年度実績	前々年度実績
寝たきり老人等介護手当助成事業	１６人	２１人	２０人
寝たきり老人等紙おむつ助成事業	６９人	７７人	７３人
高齢者用歩行車購入助成事業	１１人	１０人	１５人

８．湧別町の事業（介護予防・生活支援事業）

事業目的：おおむね６５歳以上で、介護が必要になる状況に陥ることなく自立した生活が確保できるよう実施し、要介護状態への進行を予防します。

対 象 者：介護認定を受けていない方、または要介護認定で自立と判断された方。

・生きがいデイサービス事業

事業内容：町の施設等を利用し要介護状態への進行を予防します。
上湧別地区と湧別地区は社会福祉協議会、湧別地区と芭露地区は湧別福祉会で実施し、外出や交流の機会が得られるよう支援しました。

【登録者数】

	Ｒ６年１月末		前年度実績		前々年度実績	
社会福祉協議会	上湧別 59 名	湧別 39 名	上湧別 66 名	湧別 42 名	上湧別 68 名	湧別 44 名
	９８名		１０８名		１１２名	
高齢者 生活福祉センター	０名		０名		０名	
湖水の杜	０名		０名		０名	

生きがいデイ　　参加延べ人数（令和５年４月～令和６年１月）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月
湧別（社協）	132 回	127	137	122	115	110	117	102	105
上湧別（〃）	199 回	194	195	190	177	188	214	180	156
湖水の杜	０回	0	0	0	0	0	0	0	0
生活福祉センター	０回	0	0	0	0	0	0	0	0

	１月	Ｒ６年１月末	前年１月	前々年１月	前年度実績	前々年度実績
湧別（社協）	86	1,153 回	1,218	1,261	1,468	1,423
上湧別（〃）	136	1,829 回	1,7970	1,870	2,193	2,241
湖水の杜	0	0 回	0	0	0	0
生活福祉センター	0	0 回	0	0	0	0
	計	2,982 回	3,015	3,131	3,661	3,664

・軽度生活援助事業（ふれあい訪問）

事業内容：対象者の居宅を訪問し、日常生活上の軽易な支援や相談、状態の確認等をしました。

【登録者数】

	令和６年１月末	前年度実績	前々年度実績
湧 別 地 区	０名	０名	１名
上湧別地区	１名	５名	４名
合　　計	１名	５名	５名

各月の訪問回数（令和５年４月～令和６年１月）　※　訪問回数は月１回３０分程度

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月
湧 別 地 区	０回	0	0	0	0	0	0	0	0
上湧別地区	２回	1	1	1	1	1	0	1	1

	１月	令和６年１月末	前年１月	前々年１月	前年度実績	前々年度実績
湧 別 地 区	0	０回	０	１０	０	１０
上湧別地区	1	１０回	２７	３１	３３	３９
	計	１０回	２７	４１	３３	４９

・生活管理指導員派遣事業（ホームヘルパー）

事業内容：居宅に生活管理指導員を派遣し、生活支援、指導をしました。

【登録者数】

	令和６年１月末	前年度実績	前々年度実績
湧 別 地 区	０名	０名	０名
上湧別地区	１名	１名	２名
合　　計	１名	１名	２名

各月の訪問回数（令和５年４月～令和６年１月）　※訪問は週１回１時間程度

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月
湧 別 地 区	０回	0	0	0	0	0	0	0	0
上湧別地区	３回	4	4	4	4	4	4	5	4

	１月	令和６年１月末	前年１月	前々年１月	前年度実績	前々年度実績
湧 別 地 区	0	０回	0	0	0	0
上湧別地区	3	３９回	３８	８０	４６	８７
	計	３９回	３８	８０	４６	８７

・生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）

	令和６年１月末		前年実績		前々年実績	
	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数
湧愛園	０名	０日	０名	０日	０名	０日
オホーツク園	０名	０日	０名	０日	０名	０日
湖水の杜	０名	０日	０名	０日	０名	０日
合　計	０名	０日	０名	０日	０名	０日

・外出支援サービス

事業内容：ショートステイ事業、機能訓練事業、通院等の外出支援を社会福祉協議会で実施しました。

【登録者数】

	令和６年１月末	前年実績	前々年実績
湧 別 地 区	１名	１名	１名
上湧別地区	１名	２名	２名
合　　計	２名	３名	３名

各月の利用人数（令和５年４月～令和６年１月）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月
湧 別 地 区	４回	0	0	0	0	2	0	0	0
上湧別地区	６回	4	4	2	4	2	0	3	4

	１月	令和６年１月末	前年１月	前々年１月	前年度実績	前々年度実績
湧 別 地 区	0	６回	４	４	６	４
上湧別地区	2	３１回	４８	３４	６０	４４
	計	３７回	５２	３８	６６	４８

令和６年度　湧別町地域包括支援センター事業計画(案)

１．一般介護予防事業

目　　　的：介護保険被保険者の要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援に資することを目的とします。(湧別町介護予防・日常生活支援総合事業要綱より)

事 業 内 容：６５歳以上の方を対象に、湧別地区においては文化センターさざなみ、上湧別地区においては文化センターTOM にて月２回「大筋クラブ」として、運動教室実施や口腔ケア・認知症予防についての講話など介護予防の取組みを実施します。また、地域リハビリテーション事業として自宅を訪問し、身体機能や生活機能、環境を評価し、適切な運動や介助方法、福祉用具の選定や手すりの設置場所形状などの相談を行います。

２．生きがい対応型デイサービス事業（緩和）

○介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービス事業の緩和した基準によるサービスとして、生きがいデイサービス（緩和）を実施します。

対　象　者：①要支援１又は事業対象者で入浴介助を必要としない者

今後の方針：令和３年４月より新規利用者は通常の生きがいデイサービス利用者として受け入れています。現在の利用者においては身体状況により必要時介護保険のデイサービスに切り替えていきます。

３．介護予防ケアマネジメント事業

（予防給付及び原則的な介護予防ケアマネジメント、簡略化した介護予防ケアマネジメント）

○要介護認定で要支援と認定を受けた方及び、介護予防・日常生活支援総合事業において事業対象者となられた方に、介護予防ケアマネジメントとして介護予防サービス計画を作成し、サービス提供事業者などとの連絡・調整を行い、介護予防サービス利用につなげます。

４．認知症総合支援事業

目　　　的：認知症になっても住み慣れた地域で生活するために、医療と介護の連携強化や認知症の人及びその家族への効果的な支援体制の強化を図る。

・認知症地域支援推進員の配置：地域包括支援センターの保健師２名を推進員として配置し、認知症に係る医療機関、介護サービス提供機関及び支援機関等の連携・調整等をおこない、くわえて認知症の人及びその家族に対する適切な支援の検討及び実施、支援のための情報の収集及び提供、支援のための研修会等の実施を行います。

・認知症初期集中支援チームの設置：認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを設置します。

・認知症カフェの実施：認知症の人や家族が地域から孤立し、ストレスや孤立感を感じないように認知症カフェを実施し､地域住民とコミュニケーションを図る｡また、病気や生活、生活、環境などに関することを専門職に相談できる場とする。体操や運動、ゲーム、音楽鑑賞を通して楽しむ場を提供する。地域住民が認知症に関して理解する場とする。

５．総合相談支援事業

○高齢者や地域に暮らす方の介護に関する悩みや相談を受け、地域包括支援センターの三職種が協同し、必要な介護保険サービスや福祉サービスに関する情報提供をおこない、必要な利用等につなげます。

６．権利擁護事業

○「高齢者虐待防止法」にもとづき高齢者虐待の早期発見や防止に努め、認知症高齢者などで財産の自己管理が難しい方には成年後見制度を紹介し、高齢者のさまざまな権利を擁護します。

７．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○介護支援専門員や介護保険サービス事業所と連携を図り、地域の高齢者が住み慣れた地域で長く暮すことができるよう支援します。

○地域包括ケア会議（介護サービス連絡部会）を月１回開催し、介護保険事業所等間の情報共有、地域包括支援センター等から情報を発信し、連携強化、サービス向上に努めます。

８．その他厚生労働省令で定める事業及び地域住民の福祉の増進のために必要な事業

任意事業

・寝たきり老人等介護手当助成事業

対象者：日常介護を受けている寝たきり老人、認知症老人又は寝たきり重度心身障害者と同居し、被介護者を無報酬で介護する方。

支給額：月額２万円。
被介護者は要介護４以上に該当する方。

・寝たきり老人等紙おむつ購入助成事業

対象者：本町に住所を有する在宅で 65 歳以上の高齢者(40 歳以上 65 歳未満の要介護状態で介護保険該当者を含む)のうち､今後 1 箇月以上常時おむつを必要とし以下に該当する方。
（１）要介護認定を受け、要介護度２以上
（２）要介護認定を受けないもので、要介護度 2 相当以上

助成額：購入額の２分の１、月の上限は５千円。町内で購入した紙おむつに限ります。

・高齢者用歩行車購入助成事業

対象者：在宅で高齢等の理由により歩行が困難か、又は相当時間のかかる方。

助成金：購入額の２分の１、上限１万５千円。

但し、助成後３年間は助成を受けることができません。

・生活支援体制整備事業

介護保険法で、地域支援事業に位置づけられている生活支援体制整備事業を実施するため、湧別町社会福祉協議会に配置する生活支援コーディネーターと連携しながら、認知症サポーターの養成や認知症カフェ（認知症サポーターによる地域サロン）の開設など、地域の多様な特性を活かしながら住民が主体となって高齢者を支えていく地域づくりを推進します。

９．湧別町の事業（介護予防・生活支援事業）

事業目的：おおむね６５歳以上で、介護が必要になる状況に陥ることなく自立した生活が確保できるよう実施し、要介護状態への進行を予防します。

対象者：介護認定を受けていない方、または要介護認定で自立と判断された方。

・生きがいデイサービス事業

上湧別地区と湧別地区は社会福祉協議会、湧別地区と芭露地区は湧別福祉会で実施し、外出や交流の機会が得られるよう支援します。

・軽度生活援助事業（ふれあい訪問）

訪問により対象者の状況を確認し、日常生活上の軽易な支援や相談、状態の確認等をおこないます。

・生活管理指導員派遣事業（ホームヘルパー）

居宅に生活管理指導員を派遣し家事援助などをおこないます。

・生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）

湧愛園、オホーツク園、湖水の杜の空きベッド等を利用し、短期間の宿泊をおこない、生活習慣等の体調調整をおこなうとともに、家族介護の介護負担を軽減します。

・外出支援サービス

ショートステイ事業、機能訓練事業、通院等の外出支援を社会福祉協議会で実施します。